

とやま労福協

■発行所／(一社)富山県労働者福祉事業協会 〒930-0857 富山市奥田新町8番1号 TEL076-431-0539 FAX076-431-0510 ■発行責任者／藤井光行・編集者／青木真佐美

令和6年能登半島地震被災者支援義援金を贈呈 2024年度（令和6年度）予算要請書を富山県知事へ提出

2024年1月26日（金）11時30分から富山県知事応接室において「富山県知事と労働福祉事業団体との意見交換会」を開催した。

富山県から新田知事、中谷商工労働部長、舟根商工労働部次長、富賀見商工労働部参事が出席し、労働福祉事業団体から浜守理事長はじめ6名が出席した。



まず初めに、令和6年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」による被災者支援義援金贈呈式を行った。

全国各地の労働福祉団体より寄せられた義援金の目録を浜守理事長から新田知事に贈呈した。新田知事から目録贈呈に対する感謝の意を表し浜守理事長に感謝状が授与された。

引き続き、浜守理事長から新田知事へ2024年度労働者福祉施策についての予算要請書を手交した。

浜守理事長から「日頃は富山県におかれましては当協会の事業活動である勤労者の福祉向上や健康増進について、格別のご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。新田知事におかれましてはウェルビーイングの向上の実現のための富山県成長戦略を掲げ推進しておられます。県民が真の幸せを追求し、多様な人材が生き生きと自分らしく暮らし、富山県に魅力を感じる多くの方が富山に集い、ともに発展していくことを目指して日々奮闘されていることに敬意を表します。さて産業界におきましては、燃料価格の高騰等の様々なコスト高が企業経営を圧迫しています。また終わりの見えない生活必需品の物価の上昇、いわゆる物価高が県民生活にも大きな不安をもたらしています。本年も当協会は多くの社会の構造的課題がある中、勤労者福祉の推進と向上について、富山県そして各自治体、関係団体の皆様のご支援を頂きながら全力で取り組みたいと考えております。本日の要請については、地域ライフサポート事業支援、生活改善サポート事業等の推進と充実に向け、支援等ご理解とご協力を賜りたい」と挨拶した。

続いて、藤井専務理事より各団体役員の出席者を紹介後、勤労者の福祉事業の充実・北陸労働金庫の預託金要請並びに富山県労働福祉基金の付加給付事業に対する予算要請について説明を行った。

令和6年度労働福祉施策に関する予算要請に対し、新田知事から「日頃から働く皆様の福祉の向上、富山県政の推進にご協力頂き、心からお礼申し上げます。そして先ほど全国の働く仲間から能登半島地震被害者支援のご寄付を頂きました。今後は配分委員会を設置し、各市町村を通じて被災された方へ届けたいと思っています。また北陸労働金庫さんにおかれましては、この度の能登半島地震に際し、被災者支援パッケージをいち早く発表して頂き、対応しているところです。災害復旧資金貸付けにご協力頂き感謝しております。本県では現在一刻も早い復興・復旧を最優先にできる限りスピード感をもって取り組んでまいります。本日の要請については、各団体と取り込んでおられる労働者福祉施策は、働く方を含め、県民一人一人のウェルビーイングに繋がり「生活満足度」になり、大変重要な課題と理解しています。働く方々のウェルビーイングを高めることは、企業が元気になり、それに伴って賃上げが実施され消費拡大が行われ好循環が生まれていくことだと考えております。本日のご要請の内容につきましてもしっかりと受け止めて予算編成を行ってまいります」と回答を受けた。

その後、労働福祉事業団体代表者（北陸労働金庫・こくみん共済coop富山推進本部・富山県勤労者信用基金協会・春日温泉観光開発㈱）からの意見並びに能登半島地震の現状と富山県に対する要請について意見交換を行った。



【2024年度（令和6年度）における政策・制度要求の重点項目】

1. 協同組合の促進・支援
2. 大規模災害等の被災者支援と復興・再生および防災・減災対策の強化
3. 格差の是正、貧困のない社会に向けてセーフティーネットの強化
4. 生活保護基準の見直しに伴う県民生活の影響への対応
5. 子どもの貧困・虐待対策の強化
6. フードバンク活動の促進
7. 多重債務対策等
8. 中小企業勤労者の福祉格差の是正

連合富山・連合富山総研を通じ富山県並びに各自治体へ要請。

2024年度（令和6年度）富山市長へ予算要請書提出



1月31日（水）11：00からホテルグランテラス富山にて、「富山市長と労働事業団体との懇談会」を開催した。

まず、浜守理事長から「藤井市長におかれましては、富山市の近代化に向けた街づくり、とりわけ公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトな街づくりを推進しておられます。そしてコンパクトシティの政策の進化して取り組むスマートシティ推進ビジョンを策定され、また子育て世代の暮らしやすい街づくりの実現に向け推進されておられますことに敬意を表します。本日2024年度（令和6年度）の予算要請において、労働者福祉施策の向上に向けてご理解とご支援をお願いします」挨拶し、予算要請書を手交した。続いて、藤井専務理事より

出席者の紹介と労働者福祉施策の予算要請について説明を行った。

要請を受け藤井市長から「日頃から共同互助の精神にのっとり、勤労者経済的・社会的地位の向上を意図して、幅広い分野において活発に事業を展開されておられます。富山市においては少子化・超高齢社会に伴う生産年齢人口が非常に減少しています。社会経済活動が徐々に活発になっていく中で、多様な職種で人手不足が顕著になってくるのが懸念されています。こうした中、仕事と家庭の両立、いわゆるワークライフバランスを推進し、働く方々が誰もが能力を十分に発揮しながら、安心して生き生きと、やりがいをもって働くことができる環境整備が求められていると認識しております。このため富山市では就職を希望する学生を対象とした企業説明会開催しています。また従業員の方々にとって働きやすい職場環境整備に向けた、作業時の



負荷軽減のためのアシストスーツ導入支援、あるいは休息時活用リフレッシュルームの整備を行う事業者の方に財政支援を行う等、様々な支援を積極的に取り組んでおります。また、預託金等につきましては、勤労者の生活あるいは福祉の向上には大切であると考えております。今後とも国・県・労働各団体と連携を図りながら、勤労者安定施策と誰もが働きやすい環境づくりに向け推進してまいります」と回答を受け、その後労働福祉団体との意見交換を行った。



“労働者自主福祉運動” 学習会開催

2023年10月31日（火）14：30～ボルファートとやま4階「珀水の間」において、労働者自主福祉運動学習会を開催した。今回は中央労福協南部事務局長を講師に迎え、第一部は「労働者自主福祉運動のこれまでとこれから」つながる・寄り添う・支え合うをテーマに約90分講演された。

「福祉はひとつ」で始まった労働者福祉運動の歴史、各事業団体設立経緯、現在の活動報告とこれからの労働者福祉活動について、大変わかりやすく説明された。時代は大きく変化する中で、私たちの役割も段々変化しているが、福祉の「つながる・寄り添う・支え合う」を大切にしなければならない。

第2部は事業団体報告として、

1. 労働者自主福祉運動とろうきん

講師：北陸労働金庫営業推進部次長 谷口 誠一氏

2. 富山県における労働者福祉事業とこくみん共済coop（全労済）の原点とこれから

講師：こくみん共済coop富山推進本部事務局長 山崎 要司氏

それぞれ取り組み報告がされた。



富山労福協では機関誌「とやま労福協」特別号を発行し、「今こそ労福協の力を」を合言葉に、連合富山と労働福祉事業団体と連携し、地域に密着した「労働者自主福祉運動」の社会的存在を高め、共助の輪を広げよう。と各労働組合に配布し、労働福祉事業団体をPRした。

富山県ライフサポート事業報告

2023親子でドライブ・イン・シアター&フードドライブ

<親子でドライブ・イン・シアター 2023 >

2023年9月23日(土) 18:30から富山市友杉テクノホールにおいて第4回「親子でドライブ・イン・シアター」&フードドライブを開催した。

コロナ禍による三密を避け、親子で楽しめる内容として始まった企画でしたが、申込も順調に伸び、フードドライブの協力も多くあることから、アフターコロナ企画として開催し「長靴をはいたネコと9つの命」を上映した。参加台数は84台およそ220名以上車内で映画を楽しんだ。

浜守理事長のビデオ挨拶と各事業団体のCM放送後約90分の映画をそれぞれ車の中で楽しんでいた。

今回は児童養護施設「ルンビニ園」の子供たちに見せてあげたいと要請したところ生徒5名、先生1名の参加があった。

<フードドライブ報告>

家庭で余っている食品を集めて、食品を必要としている児童養護施設やフードバンクなどに寄付するフードドライブに協力要請したところ、152品・約40kg、段ボール2箱が集まった。商品別に分け集計した食品一部とお菓子を児童養護施設「ルンビニ園」に届けました。園長先生からは卒園した若者も食べるものがないので大変有難いと感謝された。

またその他の食品約30kg、114品目をフードバンク富山の川口代表に寄付し、母子家庭支援団体等へ届けられた。



長 前専務理事からルンビニ園銘形理事長へ フードバンク富山 川口代表へ寄付



第44回親子スキー・スノーボードの集い



第44回親子スキー・スノーボードの集いが2024年1月20日第1回目を開催した。1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」から間もないこともあり、影響も心配されたが、181名の親子が参加した。

開会式では藤井専務理事の挨拶があり、インストラクターの注意事項の後、参加者は早速それぞれのスクールごとに場所を移動し、まずはケガのないよう準備体操後、注意点について聞いていた。小雨が降る中、子供たちはびしょびしょになりながらも、スキー・スノーボードのスクールで一生懸命練習していた。

昼食は弁当を配布し松井山荘3階で家族ごとに食べていた。雨で体温が下がってしまい、早々に帰られた家族もいたが、滑れるようになって最後までリフトに乗っていた子もいた。みんなスキー上手になって楽しかったと言って、笑顔で帰宅された。

第2回目は2月3日(土)開催した。

天候に恵まれ絶好のスキー日和の中でしたが、前日から「体調不良」によるキャンセルが相次ぎ、163名の親子が参加した。最初はスキーを履いて歩くことも大変だった子供たちが午後にはリフトに乗り、シュプールを描いて楽しそうに滑っていた。優しく指導されたインストラクターさんは本当に凄いと感じた。閉会しても、多くの家族がリフト終了まで滑りを楽しんでいた。初めてスキー・スノーボードを経験した親子も楽しむことができた。ケガも無く無事終了した。

今年のスキー・スノーボードの集いについては、1月1日発生した「令和6年能登半島地震」の被災者支援カンパ活動も実施し、多くの参加者にご協力と頂いた。



第61回福祉講演会開催

2023年10月20日(金)15:00から「第61回福祉講演会」を開催した。今回は「墓じまい&家じまい」をテーマに、前半は“墓じまい”講師に亀山 龍巖氏(有限会社 石の立山代表)、後半は“家じまい”講師に吉村征一郎氏(行政書士・相続診断士事務所 Stepup 代表)と2名の専門家の講演会を開催した。富山県退職者連合の会員や館内従事者他約90名が参加した。

「墓じまい」は特に富山県では大きな墓を建てて守っていくのは風習だったが、近年は少子化に伴い、小さなお墓もしくは跡継ぎが富山に不在なことから、墓じまいを希望される方が増えてきた。そこで墓じまいの注意ポイントや墓じまいをするときに決めておくこと等について講演された。

「家じまい」では近年の空き家事情や贈与税等について講演された。

私たちがいずれ相続するであろう家や守って行かなければならないお墓の事について、参加者はメモを取りながら真剣に講演を聞いていた。



生活見直し相談会2023

2023年8月5日(土)司法書士、2024年2月10日(土)弁護士による無料相談会を行った。場所は北陸労働金庫ローンセンター富山・高岡・魚津の3か所に相談を受け付けた。家族の借金による債務整理等、なかなか一人では解決することが難しい。他から借金して返済しても、借金は減らない。一人で悩まず、まず相談しましょうとラジオ放送にて事前告知した。

また年々相談者の人数が減少していることから、ネットで予約ができるようにQRとネット広告を入れたところ、3件の事前予約があった。(総相談件数7件)

普通救命講習会開催

2023年8月30日(水)13時から16時、ボルファートとやま4階「琥珀の間」において「普通救命講習会(三時間コース)」を開催した。介護講習生と館内従事者32名が参加した。

傷病者を発見した時、救急車の到着までの間にできる「心肺蘇生法」の手順や、AEDを使った蘇生法を実施した。特に人形を使った人口呼吸後の胸部圧迫はカウントしながら力が必要で、皆さん特に女性の方から思ったより大変だと実感していた。

AEDは心肺蘇生法を行っても呼吸がない場合に使うと説明があり、機械を使うのは緊張すると参加者は緊張しながら体験していた。講習後参加者全員に「普通救命講習修了証」が渡された。

北陸ろうきん <ろうきん>フレッシュアズ 応援パック

●実施期間
2024.2/1(金)~

2025.1/31(金) 期間中に下記のお取引をご契約された方に

最大! 現金 **3,000円** プレゼント!

給与振込

3万円以上の新規ご指定で
現金1,500円



ろうきんアプリ + ろうきんダイレクト*

■上記のサービスを全て利用登録された方
現金1,500円

●対象
30歳以下の
社会人の方



お問い合わせは
コチラから



*「ろうきんダイレクト」は、利用登録後、ログインされた方が対象となります。●進呈方法について→特典金額の算定基準日は実施期間終了日とし、特典は給与振込指定口座、またはダイレクト・アプリ登録口座へ2025年3月末に振込を行う予定です。

「もしも」に備え「もしも」を防ぎ

「もしも」に向き合う。



公式キャラクター
ヒットくん

こくみん共済 NEWS
coop

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

たすけあいの輪をむすぶ
こくみん共済 <全労済>
全国労働者共済生活協同組合連合会 coop